



学校だより

碩愛

No. 68

H31.3.13 発行

中期修了式 ～まとまいと落ち着きの空気～

12日（火）に保護者のご出席をいただき7年生の中期修了式を行いました。

【式辞（抜粋）】7年生の皆さんは今日の日に向けて、合唱や群読のほか、花壇の手入れ、日常の学習態度や生活態度の改善など、チームを作って様々なプロジェクトに取り組んでいます。（中略）

今日は、皆さんが8年生となるための心構えを学ぶ日。この大きな節目に当たり、「落ち着きとまとまりの空気」を生み出すための大切なお話をします。よく聞いて。

皆さんは、13歳。人は、いつまでも子どもでいるわけではなく、社会を生きる大人になる。13歳は、その準備期間の始まり。それがティーンエイジ。そして皆さんは、来年度中に14歳になります。14歳は、法律に反するとその責任を負う、つまり罰せられる年齢。自らの言動に「責任」が伴うようになるということです。

人に腹を立てると、相手も怒る。だから、腹を立てない。他の人の悪口や陰口を言う人、意地悪をする人は、きっと人から悪口や陰口を言われ、意地悪をされます。だから悪口・陰口、意地悪を慎む。いいように人を利用すると、いつか他人からいいように利用されてしまいます。だから、決して人を裏切ったり、だましたりしてはいけません。わがままで身勝手な考え方や行動は、他人を不幸にするだけでなく、自らをも不幸にさせてしまいます。他人のせいにする、逆に「お前のせいだ」と言われるに違いありません。

何かうまくいかないことを人のせいにしていない限り、成功もしなければ、成長も望めません。自らの責任。すべて、世の中は因果応報。人として間違ったことをすると、いつか、すべて自分自身に「あだ」となって返ってきます。「ばち」が当たるといことです。皆さんは「責任」その意味を学ぶ年齢になるのです。

一方、良いことをしていると、必ず恩となって返してもらえます。他の人のよいところを見つけられるようになると、自分の良いところに気づいてもらえるものです。笑顔には、笑顔が戻ってきます。友達にやさしく接すると、自分にもやさしく接してもらえます。頑張っていれば、必ずその苦勞は報われます。これもすべて因果応報。ちっとも苦勞が報われないなどと言っているうちは、まだまだ苦勞が足りないということです。報われるまで、粘り強く挑戦と努力を続ける。ただそれだけのことです。

目標を達成する人とそうでない人との違いは、たったひとつ。達成する人は、達成するまで挑戦と努力を続けます。達成しない人は、残念なことに、達成しないうちにあきらめてしまうのです。

愛する7年生の皆さん。「静寂の空気を楽しむこと」ができた皆さんです。次のレベルアップは、落ち着きとまとまり。これを磨くため、責任を自覚しましょう。挑戦と努力を続けましょう。そして、絆を深めましょう。

体調管理にご注意を

日によっても時間によっても、気温の差がずいぶんと激しいですよ。おまけに、花粉症の人に、とってもつらい時期のようですね。おだいに。



一生に一度が碩田学園に！

今年ラグビーワールドカップが日本で開催される年。街中で「一生に一度が大分に！」というキャッチコピーを見かけることも多くなりました。11日（月）には、決勝トーナメント進出の4チームのキャンプ地が、大分、東京、千葉の3都県に決定したというニュースも報道されていました。

準決勝を含め、世界大会の試合が大分市で4試合も開催されるのですよね。



実は、この大会で公式に使用される試合球が碩田学園に届けられました。

市の規定による寄付採納の手続きをとり、それが完了しましたら児童生徒の皆さんに披露し、2階正面玄関の展示棚で保管します。

